

平成29年度第5回庁議 会議録

[日 時] 平成29年8月28日（月）9時00分～12時00分

[場 所] 庁舎応接会議室

[出席者] 市長、副市長、教育長、参与及び各部局長
監査委員事務局次長 代理出席

[会次第]

- 1 市長あいさつ
- 2 議題

(1) 市議会定例会提出議案について（関係部局）

会派説明報告について（企画部、経済部、教育委員会事務局、消防本部）

(2) 「Hello! NEWプロジェクト」について（各部局）

(3) 部局執行方針における重要・懸案事項の進捗管理について（各部局）

(4) 使用料・手数料の見直しについて（企画部）

3 協議事項
なし

4 連絡事項

(1) 新居浜市市制施行80周年記念事業について（企画部）

(2) その他

1 市長あいさつ

おはようございます。

本日の庁議議題にもあるように、市議会定例会が9月5日に開会予定である。

会派説明については、8月21日及び22日に開催され、そこでも質疑応答があったと思うが、9月議会に向けて、各部局とも、予想される項目については事前に準備をするなど、遺漏のない対応をお願いしたい。

2 議題

(1) 市議会定例会提出議案について（関係部局）

会派説明報告について（企画部、経済部、教育委員会事務局、消防本部）

市長	<p>それでは、議事に入る。</p> <p>市議会定例会提出議案について、企画部、水道局、福祉部、教育委員会事務局、総務部、建設部の順番で説明をお願いします。</p> <p>なお、明日の「部課長会」での説明と重複するので、簡潔に、要点のみを説明するようお願いしたい。</p> <p>また、会派説明を行った部局については、議案の説明後、会派説明報告もお願いします。</p> <p>なお、経済部及び消防本部については、建設部の説明が終わった後、会派説明報告をお願いします。</p>
企画部長	<p>報告4件、認定1件、予算議案3件について説明する。</p> <p>議案書の1ページから3ページ、報告第21号「平成28年度新居浜市継続費精算報告」については、一般会計において、継続費を設定して事業を進めていた「端出場水力発電所公開活用費」、「角野船木線改良事業」及び「防災拠点施設建設事業」について、事業の完了に伴い、所定の継続費の精算報告を行うものである。</p> <p>次に、4ページから6ページ、報告第22号「平成28年度新居浜市継続費精算報告」については、公共下水道事業特別会計において、継続費を設定して事業を進めていた「雨水ポンプ場改築事業」について、事業の完了に伴い、所定の継続費の精算報告を行うものである。</p> <p>次に、10ページ・11ページ、報告第24号「健全化判断比率の報告」については、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」第3条第1項の規定により、実質赤字比率等4項目の平成28年度決算に基づく健全化判断比率について、議会に報告するものである。</p> <p>次に、12ページ・13ページ、報告第25号「資金不足比率の報告」については、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」第22条第1項の規定により、水道事業等6公営企業の平成28年度決算に基づく資金不足比率について、議会に報告するものである。</p> <p>次に、20ページ・21ページ、認定第2号「決算の認定」に</p>

については、平成28年度新居浜市一般会計歳入歳出決算及び平成28年度新居浜市貯木場事業特別会計歳入歳出決算ほか8特別会計歳入歳出決算について、議会の認定に付するものである。

次に、議案第60号「平成29年度新居浜市一般会計補正予算（第2号）」については、私立保育所等施設整備事業などの公共事業、一般下水路整備事業等の単独事業のほか、新居浜ブランド首都圏PR推進事業費等の施策費について予算措置するもので、今回の補正は、2億4,998万2千円の追加である。

次に、議案第61号「平成29年度新居浜市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）」については、公共下水道事業に係る汚水処理共同整備事業について予算措置するもので、今回の補正は、5,000万円の追加である。

次に、議案第62号「平成29年度新居浜市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）」については、平成28年度事業の清算に伴う償還金及び基金積立金等について予算措置するもので、今回の補正は、5億1,942万9千円の追加である。

補正内容については、会派説明資料（平成29年度9月補正予算（案）の概要）のとおりである。

引き続き、9月補正予算（案）の会派説明の結果を報告する。

まず、道路整備事業では、具体的にどの路線を整備するのか。広域観光推進費では、東予東部圏地域振興イベントのスケジュールはどのような内容を考えているのか。新居浜市としてはどのような内容を考えているのか。法皇山脈ブランド化推進協議会の設立はいつか。メンバーはどういう方達であるか。具体的に何をしようとしているのか。これまでの別子翠波はな街道での取組みとの違いは何か。

市制80周年新居浜太鼓祭りイベント事業費では、各太鼓台への予算配分はどのような内容なのか。補正額があまりに多いのではないか。2会場での実施となっているが、統一イベントとなるよう市が主体的に実施すべきだったのではないか。

新居浜ブランド首都圏PR推進事業費では、職員等特別旅費が多いがどのような内容なのか。

農道維持管理事業・市単独土地改良事業では、昨年度との予算総額と比較してどのような内容なのか。

私立保育所等施設整備事業では、防犯カメラの設置台数と費用は、これで全て整備されることになるのか。公共はどのような

	<p>るのか。関連して幼稚園の防犯カメラの整備状況はどうなっているのか。</p> <p>いじめ・不登校問題対策費では、費用の内訳は。この事業でいじめ・不登校は減るのか。連絡協議会の設置はいつで、メンバーはどのような方々なのか。従来から行っている内容とどこが違うのか。</p> <p>庁舎等整備事業では、庁舎敷地は全て市の所有になったのか。買収価格は、これまで借地料を支払ってきたことが反映されているのか。</p> <p>といった意見が出された。</p> <p>報告1件及び認定1件について説明する。</p> <p>議案書の7ページ、報告第23号「平成28年度工業用水道事業会計の継続費精算報告」については、工業用水道事業会計において、継続費を設定して事業を進めていた「山根配水池更新事業」について、事業の完了に伴い、所定の継続費の精算報告を行うものである。</p> <p>次に、18ページ、認定第1号「決算の認定」については、平成28年度水道事業会計決算及び工業用水道事業会計決算について、監査委員の意見を付けて議会の認定に付するものである。</p>
<p>水道局長</p> <p>福祉部長</p>	<p>報告1件及び条例議案4件について説明する。</p> <p>議案書の14ページ・15ページ、報告第26号「専決処分の報告」については、訴えの提起であり、国保特定健康診査検診料滞納者に対する未払い検診料等請求の訴えを提起することについて、平成29年7月24日専決処分を行ったので報告するものである。</p> <p>次に29ページ・30ページ、議案第54号「新居浜市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定」については、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律による自立支援給付の支給又は地域生活支援事業の実施に関する事務における特定個人情報の利用範囲を定めるため、条例の一部を改正しようとするものである。</p> <p>なお、この条例は公布の日から施行したいと考えている。</p> <p>次に、32ページ・33ページ、議案第56号「新居浜市特定</p>

<p>教育委員会事務局 長</p>	<p>教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定」については、「特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準」等の一部改正に伴い、受給資格等の確認に係る規定を改めるため、及び「就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律」の一部改正に伴い、引用法令条項のずれが生じたことによる所要の条文整備を行うため、条例の一部を改正しようとするものである。</p> <p>なお、この条例は公布の日から施行し、改正後の第15条第1項第2号の規定については、平成30年4月1日から適用したいと考えている。</p> <p>次に、34ページ・35ページ、議案第57号「新居浜市障がい者福祉センター設置及び管理条例の一部を改正する条例の制定」については、新居浜市障がい者福祉センターの事業内容を変更するため、及び「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」の一部改正に伴い、引用法令条項のずれが生じたことによる所要の条文整備を行うため、条例の一部を改正しようとするものである。</p> <p>なお、この条例は平成30年4月1日から施行したいと考えている。</p> <p>次に、36ページから38ページ、議案第58号「新居浜市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定」については、「介護保険法施行規則」の一部改正に伴い、主任介護支援専門員の定義の見直し等を行うため、条例の一部を改正しようとするものである。</p> <p>なお、この条例は公布の日から施行したいと考えている。</p> <p>報告1件、条例議案1件について説明する。</p> <p>まず、議案書の16ページ・17ページ、報告第27号「専決処分の報告」については、平成29年7月4日、七宝台自治会館において、移動図書館車が前進した際、相手方浄化槽の蓋及び配管を破損させた事故にかかる損害賠償の額を5万7,240円と決定したので報告するものである。</p> <p>次に、31ページ、議案第55号「新居浜市立小学校及び中学校設置条例の一部を改正する条例」の制定については、新居浜市立若宮小学校を平成30年3月31日限りで廃校とするため、本</p>
-----------------------	--

<p>総務部長</p>	<p>条例のうち、第2条第1号の小学校の名称及び位置を規定した表について「新居浜市立若宮小学校」の項を削るものである。</p> <p>若宮小学校については、児童数の減少が続き、複式学級による学級編成を行わなければならない状況に至ったため、保護者アンケートの実施、校区の方との意見交換会等を行い、若宮小学校を廃校として隣接する惣開小学校に統合するという事で、一定のご理解をいただいたことから、本年2月に開催した教育委員会定例会において、若宮小学校の統廃合について決定をしたものである。</p> <p>なお、この条例は、平成30年4月1日から施行したいと考えている。</p> <p>次に、若宮小学校廃校に伴う検討経過についての会派説明の結果を報告する。</p> <p>今後教育委員会として、小中学校の統廃合についてどのように考えているのか。廃校に伴い地域で協議を行っている「若宮を元気にする会」は、どのようなメンバーか。廃校後の施設の利活用等についてどのような話し合いがされているのか。庁内の検討委員会との関係はどのようになっているのか。廃校後の公民館や学校開放、自治会、防犯、愛護等地域の組織はどのようになるのか。といった質疑があった。</p> <p>一般議案1件、追加提出予定の一般議案4件、人事議案1件について説明する。</p> <p>議案書の22ページから27ページ、議案第52号「工事請負契約」については、治良丸南団地2号棟新築建築工事の請負契約で、7月31日の一般競争入札の結果、3億8,620万8千円で大竹組・神野工務店共同企業体と契約を締結しようとするものである。</p> <p>次に、追加提出予定の議案について説明する。</p> <p>議案書目次の右側のページ、(1)から(4)の4件の議案は、いずれも新居浜市総合防災拠点施設建設に係る「工事請負契約」についてであり、本日午前9時から一般競争入札の開札を順次行い落札業者を決定し、契約を締結しようとするものである。</p> <p>(1)の工事請負契約については、新居浜市総合防災拠点施設建設工事の建築工事である。予定価格は30億8,340万円(税込)であるが、3組の共同企業体から事前に入札参加資格の審査</p>
-------------	--

	<p>申請があった。</p> <p>(2)は同じく新居浜市総合防災拠点施設建設工事の電気設備工事である。予定価格は5億9,648万4千円(税込)であるが、7組の共同企業体から事前に入札参加資格の審査申請があった。</p> <p>(3)は同じく空調設備工事である。予定価格は3億2,680万8千円(税込)であるが、4組の共同企業体から事前に入札参加資格の審査申請があった。</p> <p>(4)は同じく衛生設備工事である。予定価格は1億8,846万円(税込)であるが、3組の共同企業体から事前に入札参加資格の審査申請があった。</p> <p>以上、4件の工事は、事前の審査申請のあった全ての共同企業体が入札参加資格を有することを事前に確認しており、低入札等がなければ、本日、仮契約の相手方を決定できる見込みである。</p> <p>次に、人事議案であるが、(5)の人権擁護委員の候補者の推薦については、人権擁護委員伊藤三枝子氏の任期満了に伴い、新たに委員の候補者を推薦するため、議会の意見を求めるものである。</p>
建設部長	<p>条例議案2件について説明する。</p> <p>まず、議案書の28ページ、議案第53号「新居浜市市営住宅条例の一部を改正する条例の制定」については、「公営住宅法施行令」等の一部改正に伴い、引用法令条項のずれが生じたことによる所要の条文整備を行うものである。</p> <p>次に、32ページ・33ページ、議案第59号「新居浜市公園条例の一部を改正する条例の制定」については、「都市公園法」の一部改正に伴い、都市公園に設ける建築物等の設置基準、具体的には建ぺい率等を追加するため、及び引用法令条項のずれが生じたことによる所要の条文整備を行うものである。</p>
経済部長	<p>経済部からは、「東京における観光物産展」について、来年1月から2月にかけて行う東京ドームでの「ふるさと祭り 東京2018」と三井住友銀行本店アースガーデンでの「愛媛・新居浜地方創生展」の2つの観光物産展に関し会派説明を行った。</p> <p>観光物産展の費用負担に関して、口屋太鼓台を所有するNPO法人さしあげプロジェクトと市の負担はどうなるのか。物産展に</p>

<p>消防長</p>	<p>ついて物販事業者の旅費も負担するのか。そのほか、東京ドームでの最終3日間の太鼓台かき夫はどのように確保するのか。にぎわい市にはどのような産品を出すのか。三井住友銀行では移住・定住促進の展示や移住相談は行うのか。観光物産展の効果検証をすべきではないか。</p> <p>といった質疑等があった。</p> <p>総合防災拠点施設の概要、工事概要及び今後のスケジュール並びに防災センター展示施設の計画変更について会派説明を行った。</p> <p>入札予定はあるのか。VRのデータについて、どの位かかるのか。映像作りはどの位かかるのか。愛媛県内の体験型防災学習センターは何か所あるのか。庁舎東から労働基準局に向けて、自転車小屋を解体して新しく道路を建設するのではないのか。緊急車両の出入り口について、庁舎北側となっているが、北側が通行不能となった時の南側道路のアクセスは考えていないのか。消火体験、避難体験のバーチャルリアリティーの所のリピーター対策について、どのように考えているのか。防災センターの運営については指定管理か、直営か。消防団の訓練場所は、施設の南側か北側か。周辺環境整備による交差点改良工事で、信号機の移設に伴い進入路もずれるのか。施工管理の山下設計は土木を持っていない、この周辺工事の土木の図面が出てこないと聞いているが、問題は解決しているのか。信号機の柱と上は新しくなるのか。防災拠点施設に設置されるエレベーターの数は何基か。地震・水害体験コーナーについて、水等が流れるのか。ライフラインの二重化として、水下水道の二重化とはどのようなものか。免震構造の採用想定震度は当初から7か。常設の災害対策本部ということだが、通常時はどのように活用するのか。通信指令施設等の工事予算は。また総合防災拠点施設の工事関係の総額はいくらか。</p> <p>等の質疑があった。</p>
<p>出納室長</p>	<p>16ページの専決処分について、金額的に非常に少ない額であるが、差支えがなければ処分に至った理由をお聞かせいただきたい。</p>
<p>福祉部長</p>	<p>債権額は6,759円であるが、この方は社会保険を取得して</p>

	いたが、国保の検診を受けたことにより発生した債権である。納付交渉において、当事者が第三者の判断を求めたいということで交渉にはなかなか応じていただけず、最終、少額訴訟であるが提起を行うものである。
--	---

(2) 「Hello! NEWプロジェクト」について (各部局)

市長	<p>次に、「Hello! NEWプロジェクト」についてであるが、各部局で協議いただき、合計143もの事業案を提出いただいた。</p> <p>皆さんも既にご覧いただいているが、内容は非常に多岐に渡っており、中には「これは若い職員の提案であろう。」と思わせるものも多くあった。</p> <p>これより、部局長さんに評価していただき、集計した結果、評価の高かった提案について、各部局より発表していただくが、それ以外で、「部局として、これだけは発表したい。」という提案があれば、この場で発表していただき、協議したい。</p> <p>長くなるので、3部局ずつお願いします。</p> <p>なお、候補となった提案数が多い部局については、時間の都合もあり、数を絞って説明いただきたい。</p> <p>まずは、企画部、総務部、福祉部よりお願いします。</p>
企画部長	<p>部内で63事業の提案があり、課長以上で評価を行い、過半数以上の評価を得た27事業に絞り込みを行い、その後、部内協議において関連する事業の統合や選に漏れた事業についても再検討を行い、最終15事業の提案をさせていただいた。そのうちの12事業が採択ということで、内容は大きく分けて4つである。</p> <p>(1)「Hello! NEW新居浜」を広げるためのPR事業、これがどうしても多くなるが、「Hello! NEW新居浜」ロゴ入りふるさと納税返礼品作成事業」として、既に準備を進めているが、アサヒビールに「Hello! NEW新居浜」ロゴ入りビールを作ってください、返礼品にするとともに市内でも発売するようにしている。その他、「Hello! NEW新居浜」キャンペーン推進事業は、提案のあった事業をまとめて、「Hello! NEW新居浜」キャンペーンとして3年間かけて様々な推進を図ろうというものである。</p>

<p>総務部長</p>	<p>また、今回の「Hello!NEWプロジェクト」が新しい「ヒト・モノ・コト」、新しいをチカラに、色々なワクワクがあふれるまちに変えていこうということであるので、</p> <p>(2)「新しいヒト」の事業</p> <p>「Hello!NEW Peopleウェルカム事業」として、転入者の方に新居浜のファンになってもらう事業や、</p> <p>(3)「新しいモノ」の事業</p> <p>「Hello!NEW FM」として、今回コミュニティFMが開局されるが、スイッチが自動で起動される防災ラジオの購入補助として、危険箇所の方に負担を軽減して広める事業や、「ICTスマートシティ整備事業」として、福祉部からも提案があったが、保健サービス、健康づくりポイントサービス、母子健康サービス等を「新居浜いんふお」を使って拡充する事業、</p> <p>(4)「新しいコト」の事業</p> <p>「新居浜駅前への飲食店誘致事業」として、駅前の東横インのオープン等もあったが、連携して飲食店の誘致を進める事業、「新居大島元気プロジェクト」として、空き家対策、白いもを活用した事業等、全体としての元気なプロジェクトを行う事業等を提案した。</p> <p>「職業体験版アフタースクールの開催」について説明する。</p> <p>総務部からは、職員の提案を受け、部内会で協議し13件提案したが、取り上げられたのは残念ながらこの1件だけである。</p> <p>この事業は、市内の小学校高学年を対象に、地元企業の協力をいただいて職業体験のようなアフタースクールを開催してもらい、児童にさまざまな学びの場や放課後の居場所を提供し、地元企業に対する興味や気づきなどによって、将来の地元での就業も期待でき、企業の社会貢献の一環にもなることから総合戦略に掲げた地元産業の振興と子育て支援につながるものと考えている。</p> <p>現在も各小学校校区で放課後子ども教室が実施されているが、放課後こども教室は、校区のボランティアなどの人材活用が中心になっており、それを拡充するようなかたちで、地元企業の専門技術をもった方に講師になってもらい、化学、機械、調理、ファッションなど幅広いジャンルの職業体験ができるようにしようとするものである。</p> <p>事業費は、講師謝金と必要に応じて教材費程度を想定している</p>
-------------	---

<p>福祉部長</p>	<p>が、大きな額にはならないと思われる。</p> <p>12事業の提案を行い、採択は7事業となっている。</p> <p>まず、「HNPQR START!!」は、多くの方に「Hello!NEWプロジェクト」を知ってもらおうということで、現在市民宛ての郵便物の発送の際に使用頻度の高い共通帳票である封筒（角型2号、長形3号）のデザインを「Hello!NEWプロジェクト」のシンボルマークに変更し、その横にQRコードを表示して、スマホ等で読み取ることで、当該プロジェクトの情報が容易に表示できるようにする提案である。</p> <p>次に、「Hello!NEW Baby!」は、新居浜市に出生届けを出した保護者に出生お祝い品として「Hello!NEW」の文字をデザインしたバスタオルをプレゼントし、赤ちゃんには「Hello!NEW」の文字の入ったブルーのおもちゃのボールをプレゼントする提案である。</p> <p>次に、「電子母子手帳で子育て支援」は、先ほど企画部からも「新居浜いんふお」を利用したということで発表いただいたが、電子母子手帳を導入して、母子手帳と併用してスマートフォン等で妊娠・出産の経過、子どもの成長や予防接種等の記録を登録・管理できるようにする。また、行政から予防接種、健康情報、子育てに関する情報等をタイムリーに発信、提供する提案である。</p> <p>次に、「Hello!NEWお手玉」は、現在、健康長寿地域拠点づくり事業で使用しているお手玉は、「新居浜お手玉たまたまばこ」というところがあるが、そのデザインを変更し、「Hello!NEWお手玉」を作成し広めたいというもの。また、本年度実施予定の80周年記念のお手玉あそび新居浜大会で、そのお手玉を使ってPRしようとする提案である。</p>
<p>市長</p>	<p>ここまでの説明で、何かご質問、ご意見はないか。</p> <p>なお、担当部局・担当課所が複数となっている事業案については、画面に赤色の字で表示している課所を主担当の課所とさせていただくよう考えており、こちらについても、検討・協議をお願いしたい。</p> <p>今回選にもれたものは、基本的には検討しないのか。</p>
<p>企画部長</p>	<p>それも含めて本日検討いただきたい。市長の方から、これは実</p>

	<p>施した方がよいという事業もあろうかと思う。皆さんの中で、選には漏れているが、現在はペーパーだけの判断であり、話を伺っていないので、これはぜひ実施した方がよいのではないかと、いう事業があれば協議していただきたい。ある一定線を設けないといけないということで、線を引かせていただいている。</p>
教育長	<p>福祉部のお手玉に関して、大会の最後の試合球に使用しようかと考えている。もう学校には作ったお手玉を配っており、試合球に使用するのは可能な気がする。相談してみる。</p>
福祉部長	<p>お願いしたい。</p>
経済部長	<p>福祉部の「チームHello! NEW結成」で、「80周年記念のサイクリング大会を小規模でもよいので開催し」ということであるが、これからサイクリング大会を新たに開催するというのは非常に難しいと思うが、「別子翠波はな街道」のサイクリング大会を11月に予定しているので、その中で例えば新居浜の「チーム大永山」等呼びかけてということになるが、その時に「チームHello! NEW」のウェアは現状として無いが、そのあたりはどのように考えていけばよいか。</p>
企画部長	<p>回答は提案部局にお願いしたい。</p>
福祉部長	<p>これは保留させていただいてよいか。</p>
市長	<p>やり方はこれからいろいろ検討するということで、どうか。</p>
水道局長	<p>この提案書の評価をする中で疑問に思ったところは、「Hello! NEWプロジェクト」については、目的が総合戦略やシティブランド戦略であるが、進める中で新居浜市の魅力度、ブランド力をアップして最終的には人口増等につなげることが目的であって、「Hello! NEW」はそのスローガンと認識している。今回の提案の中に、「Hello! NEW」自体の知名度、ロゴマークの知名度を上げるための事業が多く、「Hello! NEW」という言葉が一人歩きしており、魅力度、ブランド力アップにつながる施策を併せ持つというものでない事業もいくつ</p>

<p>企画部長</p>	<p>か出ているのではないかと思う。そのあたり、「Hello! NEW」というスローガン、ロゴマークの知名度を上げるということだけであっても、評価を高くしていてもよいのか。</p> <p>提案を求める時にきちんと定義していなかったという反省はある。総合戦略や長期総合計画は当然今も継続して行っているが、「Hello! NEWプロジェクト」として今回行おうとしているものは、違うものと思っている。それが何かと言うと、今回の取り組みが、皆が主役で、皆が誇れる、そして皆に愛される、そんな新居浜を作るためのスローガンが「Hello! NEW新居浜」で、新しい「ヒト・モノ・コト」等の色々なワクワクがあって、今までにあるものをより磨いた新しいもの、今までにないものを新しく作っていくというようなものとして、プロジェクトとしてはまとめたいと考えている。</p>
<p>市長</p>	<p>今回の提案は似たようなものが多く、内容としては「Hello! NEW」そのものをPRしようとする提案がかなりあるが、これは違う。新居浜の魅力を与えるような、住みたいというまちなにする事業、これがないといけない。「Hello! NEW」のPRのための事業そのものはいくつか統一してもらい、後は内容・中身で勝負していただかないと、少し寂しい感じがする。</p> <p>「Hello! NEW」のPRだけの事業も多いが、そこは皆さんで協議していただきたい。</p> <p>そういう点も含めて意見があればお願いします。</p>
<p>出納室長</p>	<p>協議の進め方自体の意見も出たが、シティブランド戦略のシンボルターゲットは20代後半から30代で、小さな子ども、未就学児のいるママであり、点数を付ける場合も、この年代に合致するような施策については加点する等、メリハリのついた議論、そういう視点があってもよいのではないか。</p>
<p>企画部長</p>	<p>シンボルターゲットは先ほどの若いママさんであるが、新居浜にお住まいの皆さんに新居浜市に誇りを持っていただくことで取り組んでおり、加点をして評価するという事は難しいかもしれない。その点も踏まえたいうえで見てください、ご意見をいただければと思う。それだけに、ということではないということ。</p>

総務部長	<p>建設的な意見の後に申し上げにくいですが、福祉部の「HNPQR START!!」に関し、事業自体については何の異論もないが、ただ、現在広告付きの帳票の納入予定があり、これを一定数消費しないことには、こういう条件で封筒を作成しており、即この事業に取り掛かるということには少し問題がある。優先的に広告付きの封筒をある程度使用した後でないと、別で作成するので、そのあたりの見極めが難しい。</p>
市長	<p>先ほどの経済部の事業にも関連し、採択案について前向きに検討するということであるが、提案部局と担当部局が異なる事業については、これから提案部局と企画部、担当部局で協議してもらおうということによいか。</p>
企画部長	<p>そこまでの調整時間もなかったもので、提案部局（課）と担当部局（課）とで協議いただき、すぐ実践できる事業もあれば、経費のかかる事業もあり、また経費はかからないが少し時間のかかる事業もあろうかと思う。</p>
選挙管理委員会事務局長	<p>担当部局（課）というのは、ある程度偏っていると思うが、それぞれの項目の中で、概算予算額も出ているが、事業を進めるうえで労力もかかると思われるので、人員の配置等も加味して行くべきでないかと思う。</p>
市長	<p>それについては予算査定や人事の中で行いたい。</p> <p>たちまちの問題として、担当部局はうちではない、という議論はないか。</p> <p>これで決まれば、担当部局と提案部局、企画部とで協議していただくこととなるので、そこのところは押さえてほしい。</p> <p>企画部の「小学校入学祝いクーポン券贈呈事業」で、第2子以降の子どもがいる世帯にランドセルや学習机等の補助をとということであるが、多子世帯への支援として、第3子以降として補助を行ってもよいのではないかと思う。もう一度検討してほしい。</p> <p>次に、「Hello! NEWソーシャルマーケティング導入事業」に関連して、「民間企業でマーケティング等に卓越した外部人材を登用（任期付採用）したうえで組織体制の整備を図る」とあるが、マーケティングがよいかどうかは別にして、例えば広報</p>

副市長	<p>等で専門家を任期付職員として採用することについて検討してほしい。広報がよいのか、企業誘致等がよいのかという点も含めて検討していただきたい。</p> <p>人事課へ投げ掛けるのでよい。</p>
市長	<p>次に、市民部、環境部、経済部より願います。</p>
市民部長	<p>8事業について提案し、採択は6事業となっている。</p> <p>「Hello! NEW未来の新居浜を担う「学生自治体」」では、将来の新居浜を担う中学生・高校生を中心に話し合える場を作り、今できること、今しなければならないことを話し合い、将来に向けて新居浜を支えていく人材を育成していけばと考えている。それらの学生等の話し合いの場でできたネットワークを行政、企業、地域の求めに応じて活用するという事で、学生の意見を聞く場を設けるということを行いたいと考えている。</p> <p>次に、「Hello! NEW多文化共生Living in Niijima」は、昨今地方でも増えている外国人等の活用ということである。新居浜市内においても千人程度の外国人がおり、彼らの交流の場、日本人との交流の場を設ける、また外国人同士のネットワークを設けて彼らの生活を安定化させたいと考えている。</p> <p>また、国際交流ボランティア団体が多数あるが、それらのネットワークづくり、交流の場を設けることで、新居浜は過去から新しいものを受け入れて、新しい仕事生まれ、働く人々を迎えてきたという過去を踏まえ、外国人に対しても受け入れる体制を強化していく事業を進められればと考えている。</p>
環境部長	<p>18事業を提案し、採択は2事業となっている。</p> <p>まず、「新居浜市生活支援WEBプロジェクト」では、現在もホームページ上では市民が目的を持って検索することによって検索結果が出るような展開であるが、これを最初に新居浜市に居住するメリットを集約して掲載するようにしてはどうか。また、これとは別に、新居浜市のトップページに新居浜市生活支援のサイトバナーを作り、新居浜市で行われている子ども医療費助成制度ほか諸々あるが、集約していけば一層PRになるというもので</p>

経済部長

ある。

次に、「スポーツでHello!NEW」は、スポーツを通じて新居浜市に来られた方々に市の魅力・個性を認識してもらい、新居浜市で開催されるスポーツ大会において、参加賞等にロゴマークを入れるとともに、袋等にQRシールを貼り、市のホームページへの接続を促す事業である。

19事業の提案を行い、採択は5事業となっている。

まず、PR事業について、「Hello!NEWラッピングバスを走らせよう♪」は、松山～新居浜間の特急バス及び路線バスにラッピングを施すもので、また、「走ってPRプロジェクト」は市の全公用車と趣旨に賛同する事業者の社用車にHello!NEWマグネットステッカーを貼るもので、いずれもHello!NEWのブランドイメージの定着と市内外への周知を図る提案である。

次に、「Hello!NEWようこそ新居浜へ（新居浜市イメージアップ事業）」は、新しく新居浜市の住民となった方に、マイントピア別子、あかがねミュージアム等の優待クーポンを進呈し、定住への機運醸成を図る提案である。ほかにも同種の事業提案が出ており、贈呈するものや手法等を整理し実施していく必要があるのではと考えている。

次に、「Hello!NEW別子山の匂を味わう」は、提案の内容が旧データとなっており、一部変更をお願いしたい。内容については、「別子校区産業文化祭以外にも別子山未来プロジェクトや企業組合等の活動も含めた別子山ブランドの認定周知の検討」を追加し、概算予算額も10万円としている。

次に、どうしても採用をしていただきたい2つの事業について説明する。

まず、「Hello!NEW工都トレイン」である。本提案は、創立30周年を迎える新居浜機械産業協同組合において、本市最大の誘客施設マイントピア別子の観光坑道列車「別子1号」を組合各企業の技術を結集しリニューアルしていくドキュメント映像や別子1号のPR動画を制作するという内容である。非営利目的で多数の中小企業が参画する協業プロジェクトは新居浜初の試みで、Hello!NEWというイメージを発信するものであるとともに、本プロジェクトを契機としてものづくり企業の連

	<p>携・協業の促進と共同受注システムの確立に結び付ける新たな展開への試みでもある。また、時期を同じく開催される東予東部広域イベントでの誘客ツール、ものづくりのまち新居浜のPRツールとして活用も期待できるので、平成31年春の運行に向け、ぜひとも事業化をお願いしたい。</p> <p>次に、「Hello!NEWカーシェアにいハマ」である。本提案は、大都市圏を中心に普及が加速している「カーシェア」を新居浜駅前に新たに導入して、観光客、ビジネス客等の二次交通として活用するものである。レンタカーと違い24時間、携帯サイトでの予約で3分後から利用可能となること。ガソリン代、保険料込みで15分206円からの利用料金設定になっている。仮に市役所に設置すれば平日は公用利用、休日は市民、観光客利用という効率的な展開も考えられる。なお、予算額180万円については1台当たりの維持管理経費の年間負担額である。行政による二次交通利用を目的としたカーシェアは、四国ではファーストワンの取り組みとなるので、ぜひ事業化をお願いしたい。</p>
市長	<p>ここまでの説明で、何かご質問、ご意見はないか。</p>
教育長	<p>市民部の「学生自治体」に関して、教育委員会の中でも今年、高校生と一緒にジョイントして行う事業が増えている。また、18歳以上選挙権が導入される中で、高校生にターゲットを当てた市民の政策提言について、積極的に展開していくべきではないか。これについては企画部との協議も必要になるであろう。先日も高校生のワークショップを行ったが、あのようなものをうまく系統立てて行っていけばよいと思う。</p> <p>「多文化共生」に関して、こういったものがつながるのであれば、新居浜市にも国際交流協会を早期に立ち上げるような運びをこれに合わせて進めることで、今日の夕方に国際交流の推進委員会を持つが、そういったものともつなげながら、新居浜市が外国人にとって暮らしやすいまち、あるいは国際化の進んだまちに展開していければと考える。</p>
市民部長	<p>学生自治体については、みらい会議の中学生の提案でもあり、次の世代を担う子どもたちの意見を聞くというのが重要である。</p> <p>多文化共生については、国際交流協会設立に向け準備していき</p>

	たい。
市長	実施の方向でお願いする。
水道局長	<p>教育長のお話しにもあったが、学生自治体での話し合い等は「Hello! NEW」を進めるうえで、話し合いやワークショップは非常に大事なことだと思う。また、企画部にもまちづくり市民ワークショップがあったが、それぞれの部局で単独に進めていって、終わってしまうのではもったいない。せつかく新居浜みらい会議という大元のものがあるので、その中での例えば分科会のような形で進めていって、最終的には新居浜みらい会議の中でまとめて、全庁的にまとめていくという進めの方が、効率が良いのではないかと考える。</p>
市長	<p>これからの進め方については提案部局、担当部局、企画部で協議をするということをお願いしたい。</p> <p>経済部長からの提案のあった2点については、協議の場へ上げていただきたい。ただ、工都トレインについては、あの事業の中で記録ビデオを作るのではないのか。</p>
経済部長	<p>組合が作ることにに対して補助をする。何らかの助成をお願いしたいということである。</p>
企画部長	<p>いろいろ作っていて思うのは、やはりテレビは上手であるということ。単なる記録ではない。</p> <p>今回のようにそれぞれの中小企業が集まって作るというのは、新居浜では初めてである。ドラマが一杯ある。単なる記録映像ではなく、苦しみ等も含め番組的な要素を踏まえたものができた方が、より感動的なものにつながるのではないか。</p>
市長	<p>制作することはかまわないが、やり方について、事業の中でするのか、市が補助するのか、検討をお願いする。</p> <p>「新居浜市公式SNS情報発信力強化」に関し、公式SNSの発信量が少なく、各職員に大いに活用していただき、新居浜市を発信してほしい。「Hello! NEW」だけでなく、新居浜市の事業そのものをどんどん発信するシステムを考えてほしい。外</p>

建設部長

部講師を招へいする場合とあるが、職員が使い方を研修するなどし、職員一人が情報を一日一つ発信すれば、かなりの効果がある。ぜひ検討をお願いする。

「Hello! NEWものづくり産学連携」に関し、既に行っていると思うが、まだ見えてこない。新居浜高専や東予産業創造センター等を活用したコーディネート事業をぜひ進めてほしい。検討をお願いする。

カーシェアは、なかなか面白い。議論をしていただきたい。

次に、建設部、議会事務局、水道局よりお願いする。

13事業の提案を行い、採択は2事業となっている。

まず、「レンタサイクル事業」は、東予信用金庫から自転車が寄贈されるということで、ホスピタリティという意味で、ぜひ進めたい。

次に、「起業認定制度による働き方改革」は、建設部なので具体的には3Kの現場ということで、建設業者から人が集まらないと言われている中で、休暇がない、自由な時間がないということもあり、それに対して、人を採用するに当たって努力している会社について、例えばイメージで言うと入札に際し加点する等、インセンティブを与えることで、いろんな人が活躍できる場を作っていこうとするもので、建設部の中ではそういうイメージである。各部局でいろんな様態があるかと思うが、どういうインセンティブが与えられるかを考えていただき、様々な方が働きやすい環境を作っていこうとするものである。

このほか、対象外となった事業の中でぜひというものは、「駅前人の広場へのパラソル、椅子の設置」であり、まさしく人が集まる所で休んでいただいたり、そこが気持ちの良い場所になったりすることがホスピタリティを表す一番大きなものになってくると思う。そういうものに積極的に取り組みながら、人が回遊する所に休憩スペースを作っていくことが「Hello! NEW」というテーマのもと、交流人口が増えていくのではないかと考えている。人の広場だけでなく、いろんな所があり、そういう所へも設置していくことも考えたい。

次に、「もっと知って欲しい！建築工事現場のライブ映像配信」について、建設現場を毎日24時間映像配信するという一方で、あまり経費はかからない。注目を浴びている事業であり、総合防

<p>議会事務局長</p>	<p>災拠点施設は免震構造となっており、現場の進捗度合を定点カメラでライブ配信することで、建設現場で働く人達のモチベーションのアップにもなり、ぜひ取り上げていただきたい。</p> <p>「Hello!NEW応援プロジェクト」は、既に6月の議会運営委員会において、議員が自ら「Hello!NEW」のロゴマークの入ったポロシャツを作成し、9月議会等で着用することとなったものである。8月末に完成し、9月議会のどこかで議員が着用することになる。</p>
<p>水道局長</p>	<p>12事業の提案を行い、採択は4事業となっている。</p> <p>「旅するHello!NEW II」は、自家用車、商用車あるいは公用車を利用し、併せてインスタグラムやホームページ等で「Hello!NEW新居浜」、新居浜市の知名度アップを図るものである。長距離トラックについては、運送業者とタイアップし、車両の後部扉にロゴをラッピングする。公用車についてはA5サイズのシールにQRコードも刷り込み、リアガラスに取り付ける。また、協力いただける事業所を募り、社用車への貼付も依頼する。ラッピングについてはロゴマークだけではなく、新居浜市の魅力、太鼓祭りや別子銅山等についても発信するのがよいと考える。</p> <p>次に、「Hello!NEWを探せ!!」は、ビッグマップで抽出されたものを「Hello!NEWポイント」とし、ネットワーク上で眺めるのではなく、実際に足を運んでいただき、新居浜市の新しい魅力を発見していただく。また、インスタグラムやホームページを活用することにより、市外の方々にも来訪いただくことを目的としている。30箇所ほど「Hello!NEWポイント」を選定し、そこに「Hello!NEW」の看板を設置し、ホームページ等で宣伝し、皆さんにそこへ行っていただき、インスタグラムに投稿いただく。投稿いただいた方をポイントマスターに認定し、合わせて情報発信された方も積極的に取り上げる。</p> <p>次に、「Hello!NEW新居浜大自慢プロジェクト」は、市のホームページでは担当課でばらばらに控えめに新居浜市のすごい所、面白い所を掲載しているが、その情報を1か所に集約し、見るだけで新居浜市を周遊するような気分となるページを作</p>

	<p>成し、イメージアップを図るものである。全課所が担当する業務で、新居浜市が誇れる点、グルメ、観光地・名勝等を抽出し、祭りや花火大会等も網羅する。</p> <p>次に、「新居浜のまちづくりについて学ぼう」は、今年度は既に8月14日から16日のお盆の期間中に実施した。水道局であれば、子どもの参加者に対し龍神の水200本を用意していたが、全部なくなるなど、盛況であった。目的としては、将来の新居浜市を担う子どもたちに新居浜市のまちづくりについて紹介し、体験してもらうことによって、まちづくりに関心をもってもらうとともに、土木職員が不足している状況の中で、土木職員の仕事について子ども達に関心を持ってもらい、将来の土木職員の人材育成につなげるものである。</p> <p>今年はお盆の期間中にイオンモールで開催されたイベント「キッズ本格おしごと体験」に新居浜市として参加し、まちづくりに係る仕事を体験していただいた。参加したのは水道局、道路課、都市計画課、建築住宅課、下水道建設課であった。</p> <p>次に、選からはもれているが、局内では評価の高かった「Hello!NEW Water Pipe」について、新生水道管による生活改善、安心安全の強化ということであるが、公共工事をスムーズに進めるためには、工事前の十分な説明による人間関係の構築、工事後のその効果や改善点の説明が重要かと思う。工事完了後、改善点を周知することにより、今まで以上に住みやすさが向上したことを市民の皆さんに実感していただくということで、その内容を記載した「Hello!NEW Water Pipe」というチラシを配布し、併せて、工事期間中の騒音や振動等でご迷惑を掛けたことのお詫び等についても記載する。水道局の例として「Hello!NEW Water Pipe」としているが、工事担当課によって文面を変えて実施できればと思う。</p>
市長	<p>ここまでの説明で、何かご質問、ご意見はないか。</p>
経済部長	<p>建設部の「駅前人の広場へのパラソル、椅子の設置」に関し、ぜひやっていただきたいのと、例えばマーケットができるような備品等を準備していただき、土日にマーケットを実施すること等も検討いただきたい。</p>

建設部長	マーケットについては、建設部で屋台を出店している方に人の広場の貸し出しをモデル的に始めた。賑わいということを目的にしている。
市長	これはぜひやっていただきたい。建設部に言うのか、経済部に言うのか、土日にイベントを開催してほしいということであるが、難しいのなかなか開催できていない。
建設部長	屋台については、今まで2回ほど声を掛けて出店していただいた。少しずつ広がりを見せつつあるという状況である。
市長	補助金を出してイベントを開催してもらおうという方法はどうか。日曜市も無くなったと聞いているが。
市民部長	日曜市はやめている。
市長	新たな日曜市を人の広場で開催するような新しい仕掛けはないか。どこがするのか。そのような点も含めて検討をお願いする。 建設部の工事現場のライブ配信について、工事の中に含めて作っていくということとはできないか。
建設部長	検討したい。ホームページで公開という事であり、そのあたりの仕組み等協議したい。
市長	次に、教育委員会事務局、消防本部、監査委員事務局、港務局事務局、選挙管理委員会事務局よりお願いする。 また、出納室及び農業委員会事務局については、今回候補となった提案はないが、特に発表等があれば、最後をお願いする。
教育委員会事務局 長	14事業の提案を行い、採択は2事業となっている。 「Hello! NEWブックスタート事業」は、現在図書館で5か月の健康相談時に行っているブックスタート事業は乳児にとってまさにHello! NEWそのものの出来事である。図書館での絵本の読み聞かせ等のイベントへの参加は保護者にとっても関心の高い事業であることから、ブックスタート事業として、司書が説明の言葉を添えて絵本等が2冊入ったブックスター

<p>消防長</p>	<p>トパックを手渡しているが、それにプラスして「Hello! NEW」のロゴをあしらった葉と保護者向けの図書館案内に関するパンフレットを作製し手渡すものである。</p> <p>次に、「スポーツによるHello! NEW PRプロジェクト」は、環境部にも同様の提案があったが、市民に新居浜への誇りと愛着を持っていただくため、また市外在住者には新居浜市に興味を示していただくため、新居浜市特製の「Hello! NEW」のワッペンやピンバッジを制作し、市内で開催されるスポーツ大会やスポーツイベントに参加される方、入賞者等に贈呈するものである。また、国際大会や全国大会に出場するチームや選手には帽子やカバン等にも飾っていただき、世界や全国に向けて新居浜市の存在をPRするものである。</p> <p>12事業の提案を行い、採択は2事業となっている。</p> <p>まず、「Hello! NEWカラーを広めよう」は、職員が着用しているアポロキャップは現在紺色であり、これを「Hello! NEW」のブルーに変えるというものであるが、今年度は既に購入しており、実施が3年間であり、新たに予算措置をすれば別であるが、かつ消防本部内で今年度服制検討委員会を設置するので、そこで議論を深めないと一足飛びにアポロキャップの色を変えるのは難しい。</p> <p>次に、「子育て世代向けの事業展開の一元化」は、市ホームページにおいて「Hello! NEW」のシンボルターゲット向けの情報を一元化し、情報発信できる体制づくりを目的とし、20代後半から30代で小さな子どもがいる職員で構成するメンバーでプロジェクトチームを作り、事業内容を検討し、事業実施をするものである。これまでいろいろ検討し、担当課に事業を割り振っていたが、思うような事業になっていない。事業として考えられるのは、ほしい情報がすぐわかる冊子の作成であるとか、ママと子どもの居場所、これは屋外では多くあるが、エアコンのきいた室内空間というのはなかなか無く、そのあたりも検討してはどうかということである。</p>
<p>監査委員事務局次長</p>	<p>「シティブランド戦略のPR」は、経費のかからないものということで考えたのであるが、既に取り組みされている職員もいるが、メール送信の際の署名に「Hello! NEW」のイメージ</p>

<p>港務局事務局長</p>	<p>戦略をPRする文言を全職員が入力するものである。庁外に発信する際の利用は、今は職員のみにとどまっている状況と考えられるので、PRできると考える。これについては、統一した文言を考えるべきであろう。</p> <p>2事業の提案を行い、採択は1事業となっている。</p> <p>「郷土料理「ふぐざく」をもっと広めるプロジェクト」は、新居浜市の情報発信に活用できるのではないかとということで、ふぐざくは非常においしい郷土料理であるが、全国的には知られていないことから、認知度を上げるとともに、全国から食べに来てもらえるようになれば、新居浜市のPRになると考える。ふぐざくをタブロイドや特設サイトにて全国に紹介し、各小料理屋のふぐざくの特徴を記載したグルメマップを作成しPRする。また、料理屋によって個性があり、色々な作り方があるので、ふぐざくの定義を確立しブランド品質の確保を図ってほしいというものである。</p>
<p>選挙管理委員会事務局長</p>	<p>「まちづくりクエスト2017～未来は自分が創る！選ぶ！」について、目的としては、昨年公職選挙法の改正により選挙権年齢が18歳以上に引き下げられ、一部の高校生が有権者となった。そのため、総務省が進める主権者教育普及実践事業を活用し、政治や選挙に対する若者の関心を高め、積極的に社会に関わろうとする自覚や態度を育てることを目的し、まちづくりゲームをメインとした参加型主権者教育イベントを開催した。結果として、7月26日あかがねミュージアム多目的ホールで高校生50人、総勢100名を集めて開催し、新居浜市をモデルとした架空都市を見立て、高齢化、人口減少によって予算が限られる中、各班に分かれて、様々な課題をクリアしながら、未来へのまちづくりを体験していただいた。また、イベントの中で、「Hello! NEWプロジェクト」にも触れ、若者へ実際のまちづくりへの参加を呼び掛けた。来年度以降については選挙の執行を踏まえ、検討していきたい。</p>
<p>市長</p>	<p>点数は届かなかったが、出納室及び農業委員会事務局から何か意見はないか。</p> <p>(特にはないとのこと。)</p> <p>ここまでの説明で、何かご質問、ご意見はないか。</p>

建設部長	<p>教育委員会の「スポーツ人口拡大・健康増進プロジェクト」に関してであるが、フットサルについて述べさせていただく。現在は外国人労働者が多く、多喜浜近辺では外国人が空き地等でサッカーをしている。黒島海浜公園に3on3のコートを設置したが、結構活用されている。今の若い世代では、チームを作ってチームで戦うというよりは、集まれる人が集まってそこでゲームができたり、コミュニティが作れるということがすごく盛んになっている。そういう意味では、外国人、働いている若者を考えると、フットサルのできる室内の環境をぜひ新居浜に造りたい。四国中央市、西条市ではできるが、新居浜市ではできない。なぜ体育館が使用できないのかを考えると、ボールが当たって施設が傷むことだけである。可能な話であるので、「Hello! NEW」という意味でも取り上げていただきたい。</p>
市長	<p>協議をお願いする。</p>
副市長	<p>港務局の「クルーズ船誘致事業」は、ぜひやっていただきたい。これを行うには経済部の主体的な動きが必要であり、観光振興計画の中に、インバウンドも含め入って来ると思われる。小型クルーズ船の受け入れということで、受け皿の整備・調整について、港務局と経済部で協議しながらしっかり取り組んでほしい。</p>
経済部長	<p>船を着けるための施設整備を行わないといけないので、かなり経費がかかると思われるので、これも含めて検討したい。</p>
副市長	<p>今のフェリー港でも小型クルーズ船なら着けれる。</p>
港務局事務局長	<p>宇和島港の例を6月に見せていただいた。新居浜港の垣生第2岸壁が同じ水深約7.5メートルであるが、そちらに見合うような船を入港させていた。大型船になれば、経済部長が言われたとおり施設整備は大変になる。岸壁に見合った船を誘致するのであれば、少ない事業費でやっていけると考えられる。ターゲット次第である。</p>
市長	<p>この点については、私の方からも港務局に以前からお願いしている。協議に上げていただきたい。</p>

教育長	<p>消防本部の「子育て世代向けの事業展開の一元化」に関し、宿泊型の児童館という表現をしているが、例えばゆらぎの森で閑散期に、子どもたちが自然の中で遊べるような、親が子育ての悩み事を交換し合えるような企画商品を作れないか。</p>
経済部長	<p>経費負担をしていただければ可能であろう。</p>
教育長	<p>別子に対しても、そういう世代からつながっていければよい。中学校も置いており、将来結び付いていくと感じた。</p> <p>シーズンのには閑散期もあると思う。真冬は上がれないといけないので難しいが。</p>
企画部長	<p>教育委員会の「若宮小学校施設再生事業」に関し、企画部の中でも提案はあったが、現在庁内の検討委員会で進めており、内容的には正に「Hello!NEW」で、統廃合は初めてのことであり、庁内で検討を進めさせていただく。</p>
市長	<p>そのように願います。</p> <p>教育委員会の「新居浜市の教育環境が変わります」に関し、トイレ、空調については来年度行うのか。</p>
教育委員会事務局長	<p>先日、企画部と協議したところであるが、政策会議の中で一定の方向は示していきたい。</p>
市長	<p>これらは正に「Hello!NEW」である。</p> <p>全体として、多くの提案をしていただいたことは非常にいいことであり、ありがたいが、「Hello!NEW」のPRが主体になっている。それはそれで必要であるが、あれもこれもではなく、効果的な事業いくつかに絞り、それに集中することを考えていただきたい。どういう事業が必要なのか、まず事業の中身を検討いただきたい。</p> <p>ただいまの協議で、「Hello!NEWプロジェクト」に関し、事業化の候補案が決定したが、このうち予算を伴わない案については、部局長のリーダーシップのもと、できる限り早い時期に実践に移せるよう、スピード感を持って取り組んでいただきたい。</p>

企画部長	<p>また、来年度に向け予算措置が必要な案については、今後、企画部を中心に、協議を進めていただくこととなるが、具体的な進め方については、企画部長から説明をお願いします。</p> <p>「Hello! NEWプロジェクト」の提案については、各部局より本当に多くの案を提出いただき、また皆さんには、お忙しい中評価していただき、お礼を申し上げたい。</p> <p>事業化を進める候補の事業案が決定されたが、関連する事業や実施に向けて条件整理が必要な事業もあろうかと思う。これらの事業については、企画部も入るので、提案部局と担当部局とで協議をしていただき、また、予算を伴う事業案については、担当部局（担当課所）より当初予算要望を提出していただきたい。予算については、査定の中で考えさせていただきたい。</p> <p>なお、具体的な要求方法等については、後日通知させていただくので、よろしくお願ひしたい。</p>
------	---

(3) 部局執行方針における重要・懸案事項の進捗管理について（各部局）

市長	<p>「部局執行方針における重要・懸案事項の進捗管理について」、目標と比較して7月末現在の進捗状況が遅れている項目について報告いただき、そのあと質疑をさせていただきたい。</p> <p>長くなるので、3部局ずつ報告をお願いします。</p> <p>まずは、企画部、総務部、福祉部よりお願ひしたい。</p>
企画部長	<p>荷内沖埋立事業について、なかなか結論は出ないが、9月1日に都市基盤整備促進特別委員会の付議事件として協議を行う予定であり、荷内沖については、将来の新居浜市の有効な財産としての位置付けを検討していきたいと考えている。</p> <p>瀬戸・寿上水道問題について、少し予定より遅れていたが、市上水道との統合に向けての問題点の洗い出しを済ませ、水道委員会3役との協議を既に行い、本日、8月28日水道委員会において統合に向けたスケジュール、水道料金等について協議する予定である。いずれにしても、早期解決を図りたいと考えている。</p> <p>企業城下町版生涯活躍のまち基本構想の実現に向けた取組の推進について、RCCマスタープランの重点プロジェクトとして</p>

<p>総務部長</p>	<p>若宮小学校跡地と鉾山所長宅などの山田社宅跡地をレガシーゾーンとして検討を進めている。問題は、RCCのコアとなる施設の場所、整備主体の方向性をまだ見出せておらず、現在のところ計画案の作成には至っていないが、関係者との協議を進めていきたいと考えている。</p> <p>人材育成の推進について、3C職員の育成を推進していく中で、現在行政評価の手法を行っているが、実施可能な評価制度を構築するため、来年度からは新たな手法で試行できるように、現在、他の自治体等の先進事例を収集している。年内には新たに試行するための評価制度を考案したいと考えている。</p>
<p>福祉部長</p>	<p>東新学園の建て替えについて、民設民営で採算ベースに乗るような規模・運営形態についての協議、県への認可の方向性についての確認等を行っている。今後は、民設民営の具体的な方向性について、部内での調整を図り、政策会議にて基本方針を決定し、進めていきたい。</p> <p>地方創生に向けた子育て支援の充実についてのうち、子育て世代包括支援センターについては、既の実施している事業の整理、新しい事業の内容、職員体制等の検討を行った。今後については、既設の利用者支援事業等との連携、現在は保健センターでの開設を考えているが、施設整備等について、補助メニュー等も見ながら、平成30年4月1日開設に向けた協議を進めていきたい。</p>
<p>市長</p>	<p>ただいまの説明で、何かご質問、ご意見はないか。</p>
<p>副市長</p>	<p>福祉部の子育て世代包括支援センターに関して、施設整備もそうであるが、保健師の配置、見直し等も行うのであれば、早目に組織機構の協議も行わないといけない。</p>
<p>企画部長</p>	<p>年度当初より、来年度の予算に向けて必要なものということで、8月までの政策会議の開催をお願いしていたが、まだ少ない状況である。9月になると議会もあり、10月は国体や80周年記念事業等もあり、市長・副市長の予定も非常にタイトでなかなか時間が取れない状況である。先週までに教育委員会等、主だったものは勉強会まで終えており、まだのところも多数残ってい</p>

市長	<p>る。総合政策課のまちづくり担当と協議し、担当者レベルでの協議を進めていただきたい。当初予算に向けての対応を宜しく願います。</p> <p>企画部の公共施設再配置計画の策定に関し、市全体の必要施設の総量を決めていくと理解しているが、具体的に市民の意見を聴取して進めていくのか、そこまではしないのか。立地適正化計画等とも関連してくるため、企画部も入って関係部局で協議してほしい。公共施設再配置計画については今年策定しないとけない。立地適正化計画と1年ずれている。そのあたりの調整をどうするのか。</p> <p>国体に関して、開催まで残り1か月となるが、会場準備、大会運営、宿泊等は準備万端整ったのかどうかの確認をお願いしたい。国体の会場はもちろんであるが、周辺道路の整備、植栽、白線等についてはどうか。できるところから取り組んで、会場へつながる道路の整備を行ってほしい。</p>
建設部長	<p>会場につながる道路の起点について、どのように考えればよいか、悩ましいところである。</p>
市長	<p>国体推進室とも協議し、この道路と、ポイントを定めて進めてほしい。それと関連してくるのが花いっぱい運動である。</p> <p>教育委員会で、あいさつ運動に関して、高校生はよくしてくれるが、小中学生はどうか。</p> <p>経済部で、タクシー運転手の対応についてはどうか。</p>
経済部長	<p>先般、研修を行った。</p>
市長	<p>対応がよくないと聞くが、効果はどうか。</p> <p>小中学校の他県の応援対応についてはどうか。</p> <p>また、皇室対応についてはどうか。</p>
企画部長	<p>ウエイトリフティングの会場にお越しになられる予定となっている。</p>
市長	<p>いずれにしても残り1か月であり、全庁を挙げて取り組んでほ</p>

<p>市民部長</p>	<p>しい。</p> <p>企画部の企業城下町版生涯活躍のまち基本構想について、候補地や事業主体等が決まっておらず、住友各社の動き、感触等を早く掴んで対応していただきたい。</p> <p>政策懇談会の関係で、年代別、職業別の市政懇談会について、年に1・2回は開催したい。高校生対象のものが一番最初かと考えており、よろしくお願ひしたい。</p> <p>健全財政の維持、スクラップアンドビルドについて、議論をしていただきたいが、私の思いとしては、施策事業は原則3年又は、5年継続して実施した事業は、基本的には廃止、できなければ組み換えということで、来年度予算を考えてほしい。予算編成方針の中で議論をお願いする。</p> <p>福祉部で、東新学園については協議を進めていただきたい。</p> <p>子育て世代包括支援センターについては、計画どおり開設をお願いする。</p> <p>健康都市づくりについては、漠然としており、具体的な数値を挙げて、それに向かってこういう事業を行っていくということを示していただきたい。</p> <p>次に、市民部、環境部、経済部よりお願いする。</p> <p>地域コミュニティの再生について、近年ずっと自治会の加入率が減少している現状であるが、コミュニティ再生事業交付金制度を活用し、回復に向け事業を進めている。今年度は、連合自治会の中に小委員会を設け、具体的な対応を各校区においても検討いただくという事で進めている。</p> <p>9月4日で「まちづくり校区懇談会」は終わるが、その延長上として地域担当支援員制度を、今後も新居浜市と校区連合自治会がつながって、地域課題等を新居浜市が把握するために、10月から新たに進めていきたいと考えている。詳しい制度については庶務担当会議等で説明させていただく。職員の中から立候補を、いない校区についてはお願いするということで、今年度半年お願ひしたい。また、来年度については、まちづくり校区懇談会の推進員が支援員を兼ねるということで進めたい。これについては、企画部にあるが、広聴機能の強化の一環にもなるため、進めてまいりたい。</p> <p>次に、住宅新築資金等貸付金の償還推進について、平成28年</p>
-------------	--

	<p>度末の滞納額が約1億7千万円となっている。住宅新築資金等特別会計については、平成32年に公債費等の償還が終わるため、32年度までに担保権実行等も含めた法的手続き等も検討しながら減少に努めている。</p> <p>公約では、ボランティア活動の普及、ボランティアポイント制度について、現在、福祉部の介護特会の中でシルバーボランティア推進事業があり、これは65歳以上の高齢者を対象としたボランティア事業である。また、教育委員会には小中学校ユネスコ協会の認定を受けたESDパスポート事業の中で小中学生がボランティアを行う事業があり、また、県立ではあるが新居浜南高校もユネスコ協会のパスポート事業を用いてボランティア活動を実践している。これらは対象者が限られることから、これらの制度に総合的に対応するためどのようにするか、今後担当課と協議する予定であり、よろしくお願ひしたい。</p>
環境部長	<p>ごみ減量化推進に関し、事業系ごみについては使用料等の改定に伴い行っていきたい。生活系ごみについては、地道な事業の取り組みに頼っている状況である。昨年度、布類の定期収集を開始し約3倍に伸びているということもあるが、なかなか進まない現状ではあるので、政策懇談会のワーキンググループのテーマでも取り上げ、提言をいただいきたいと考えている。</p> <p>ごみの有料化については、いろいろなところでご意見がある中で、平成28年度のデータを踏まえて傾向分析し、課題を整理し、ごみの種類ごとに有効な有料化施策を検討し、部内案を作成し、庁内協議を経て、廃棄物減量等推進審議会にかけるという内容を10月中に決定したい。</p> <p>また、先ほど話した政策懇談会のワーキンググループのテーマであるごみの減量化推進も、関連するので、提言を盛り込んだ後、11月をめどに審議会への諮問又は意見聴取を行うこととしている。</p>
経済部長	<p>まず、商店街の活性化について、銅夢にはまの食市場試行営業の状況を踏まえ、今年度中に今後の方向性を協議決定することとしており、現在、1月から12月（8月、9月は中止）まで、銅夢にはまにおいて「産直市 銅夢マーケット」の試行営業を開催しているが、本格営業については、平成30年度は銅夢にい</p>

	<p>はまの指定管理を更新したうえで、試行営業を継続する中で本格営業が実施できるかどうか決定することに変更してまいりたいと考えている。</p> <p>次に、旧別子観光センター跡地整備事業について、廃止も検討されている「銅山の里自然の家」の代替施設としての位置付けも考慮し、今年度中の基本構想策定に向けて取組を進めることとしている。そのため、今年度策定中の「新居浜市観光振興計画」において、旧別子観光センター跡地の利活用について位置付けを行い、住民アンケート結果や8月に実施した別子校区連合自治会へのヒアリング調査の結果を踏まえ、12月を目途に跡地活用の基本方針及び施設の基本機能を盛り込んだ計画素案を作成する予定である。</p> <p>次に、森林の整備について、「別子山地区森林整備計画」に基づく持続可能な森林計画を推進するため、市有林の搬出間伐に向けた路網整備等について、平成30年度から事業着手できるよう、財源等を含めた事業実施スキームについて具体化を進めることとしている。事業実施に当たっては、住友林業（株）に委託する事業形態を予定している。現在、契約形態について住友林業（株）と協議中であり、協議が整い次第、早期に政策会議での庁内合意を経た後に、議会へも説明してまいりたいと考えている。</p>
市長	<p>ただいまの説明で、何かご質問、ご意見はないか。</p>
建設部長	<p>市民部の地域コミュニティ再生事業に関し、恐らく、防災、ゴミという2点については自治会への加入に関わらず住民ニーズは有り、それをどう整理していくかということと、自治会の加入率の増加ということのを合わせて考えるので、ジレンマに陥っているような気がする。防災の受け皿を自治会にする。自治会自身の構成率は60%でもよいが、その地域の防災を担うという活動に対して、交付金を交付するような形にならないと、自治会に加入していないからできないというのは、お互いの言い訳になってしまっている気がする。その中で、市はどのように関わっていくのか、真剣に考えないといけない時期になっている。議論がすれ違っているような気がする。</p>
市民部長	<p>建設部長の言われることも、十分感じている。地域コミュニテ</p>

<p>市長</p>	<p>ィの再生を図る尺度として、長期総合計画の中で自治会加入率という尺度が決められており、自治会加入率が下がるとコミュニティの再生はなっていないのではないかと批判を受けるが、加入率と地域のコミュニティはある程度かぶる部分もあれば違う部分もある。今後は、尺度も考えていかなければいけないと思う。今回、政策懇談会のワーキンググループのテーマに再度挙がっており、交付金制度も4年目という状況も説明させていただき、皆さんのご意見をいただいたうえで、検討していきたい。</p> <p>色々意見があると思うし、加入率はどんどん減るし、ごみとのリンクも色々言われるが、なかなかこれと言った名案は出ない。今年度は交付金の見直しの年であり、徹底的に見直して、市政だよりの配布に対する交付金等もあり、形が見えない状況となっており、考えていかなければいけない。</p>
<p>市民部長</p>	<p>自治会加入とごみステーションの使用に関して、あまりにもそれを関所のように使っている方法はどうかと思う。</p>
<p>市長</p>	<p>長年議論しており、環境部とよく議論してほしい。別なら別、同じなら同じということを考えないと、お互いに擦り付け合いをしているようにしか見えないので、協議してほしい。</p> <p>婚活に関して、住友各社の社員を対象とした婚活はできないか。</p>
<p>市民部長</p>	<p>手を挙げてくれる中でということになるが、住友各社への話しはさせていただいている。</p>
<p>市長</p>	<p>住友化学さん、住友金属鉱山さんも、ぜひやっていただきたいと言われている。</p> <p>県の婚活センターは特定の企業を相手に行うというのは問題があると言っている。そこをクリアして、行っていただきたい。</p> <p>ボランティアの関係で、社会福祉協議会のボランティアセンターとの関係がよく分からない。両方でどういう事をしているのか見えない。統合、また区分けを行っていただきたい。</p> <p>交流センターについては設立に向けて進めていただきたい。</p>

市民部長	ぜひ地域支援員制度もお願いしたい。
市長	<p>コミュニティの再生の中で、まちづくり校区懇談会の推進員と似たものとなるが、各連合自治会に対して2～3人の支援員を設置し、連合自治会との連絡調整役をしていただくよう、近々お願いすることとしている。支援員の推薦等もお願いする。</p> <p>友好都市・連携都市の拡大について、必ずしも国外でなく国内でもかまわない。友好まで行かなくても連携できるよう、いくつか都市を見つけ出し、形にさせていただきたい。住友関連都市等でもかまわない。これは市民部になるのか。</p>
市民部長	国内の連携都市となると、各分野でつながりのある市が出て来ると思う。総括はするが、各部局でそのような方向で取り組んでいただきたい。
市長	<p>交流人口を増やすにしても、こういうことをきっかけにしていかなないと、新居浜のPRにならないので、ぜひ考えてほしい。</p> <p>企業誘致及び留置の関係で、奨励金等のパンフレットはできたが、これに工業用地の売買あるいは貸し付け可能な土地の紹介も含めた冊子にさせていただいたら、よそでPRする際に助かる。</p>
経済部長	民間情報の収集も行っているが、なかなか上がってこない状況がある。
市長	<p>待っていたのでは来ないかもしれない。ぜひ作成していただきたい。</p> <p>銅夢にはまに関し、平成30年度も実施するのか。</p>
経済部長	連盟の方からは実施したいと伺っている。
市長	<p>専門の人に任せ、活用方策を考えた方が良いのではないかと相談をしていただきたい。</p> <p>水素社会に関し、これからの発展についてはどうか。</p>
議会事務局長	セブンイレブンは配送トラックを水素にする計画とのことである。

企画部長	水素は時間が長く、恐らくEVが先ではないか。
建設部長	エネルギーの代わりとして蓄電池になるのか、水素になるのか、圧縮空気になるのか、というようなせめぎ合いである。 今の状況でいくと、蓄電と言う意味で水素は採用される可能性は高いと考える。
副市長	最近アンモニアの中の水素を燃やしてという話もある。
市長	雇用対策に関し、南予にターゲットを絞って行っているが、高知県に広げてほしい。
経済部長	先日の溶接競技会の際に高知県の先生に聞くと、選択肢が広がるという意見もあり、ぜひ高知県にも広げたい。
市長	そのための一つとして、機械産業協同組合が合同で独身寮を建設するような仕掛けはできないか。
経済部長	話をしたところ、組合で運営するのはなかなか難しいと返って来ている。
市長	マイントピア別子で、銅婚の里について、非常に良かったと思うが、11組中3組が市内の方というのは、多過ぎないか。
経済部長	予算特別委員会、決算特別委員会の中で、市内も方も、とのご指摘があった。
市長	1組か2組はかまわないが、11組中3組というのは多いのではないか。
経済部長	市外の方で辞退された方もいらっしやった。12組と3組の予定であった。
市長	2組までと思う。 あかがねキッズパークの来場者が減少しているので、新たな対策を打たないといけない。

経済部長	その点について、ポーネルドを先般訪問し、提案がないかお願いしている。
市長	観光宣伝に関し、SNSを活用したやり方、ポスター・パンフレットについては専門家をお願いすることはできないか。
経済部長	そういう形で予算要望しきたい。
市長	ふるさと観光大使の活用で、割引券付きの名刺は作成していないか。
経済部長	今はまだ作成していない。
市長	観光大使と言うと少し重たいが、サポーターということで、住友企業等で帰った人等をサポーターにすることはできないか。 新居浜ブランドの創出で、名物料理・名物土産を是非考えてほしい。
経済部長	今年、「ザンキ選手権」を大物産展の中で実施する予定である。
市長	有害鳥獣被害について、なんとかならないか。これとごみの問題はどこに行っても言われる。 県、国も入れて、これで名案を出せば有名になる。考えていただきたい。 別子山の森林整備について、県の方は話がついたのか。
経済部長	県にも行っているが、住友林業との契約形態を考えてからという事になっている。相談には行っているが、補助金の枠がある。
市長	できるだけ取れる方向で考えてほしい。 溶接競技会は、ぜひ来年も開催していただきたい。
副市長	旧別子観光センター跡地整備事業について、銅山の里自然の家廃止の判断もあるが、今年度中に観光振興計画の中で方向性を出せるのか。

経済部長	機能は今年度中に決める。例えば研修施設等、一定の方向性は出していく。
副市長	今後のスケジュールはどうか。
経済部長	2年位かけて設計、地質調査となる。実際建設にかかるのは早くとも3年目以降となる。
市長	観光振興計画をあてにせず、具体的にどうするかを単発で決めないといけない。決めて、振興計画に入れるということ。
経済部長	大きい方向性を計画に位置付けるということになる。地域の方々との協議しながら進めたい。
副市長	地元の意見は、まとまっているのか。
経済部長	研修施設であるとか、昔のような施設であるとか、色々な意見が出ている。概ね今出ているのは、研修施設と、登山客利用という二つの大きな意見である。
副市長	ゆらぎとの棲み分けをどのようにするかということになる。
市長	次に、建設部、水道局、教育委員会事務局より願います。
建設部長	<p>駅南北一体化による新都市拠点の形成について、まちづくり協議会を開催し、3案まで作ったところまでは進んだ。議会の方から、それに対する市民アンケートについて慎重な意見もあり、進捗を見ていない状況である。政策懇談会でこれについても議論するということで、高専の迫原先生を座長として、どういうふうな扱いをしていくか協議したい。年内には立地適正化も含めて、こういうものというイメージづくりまでは進めていきたいと考えている。建設部としては、駅南の新都市拠点形成については、施策上、面整備という形で進めていくべく、各方面と協議を進めていきたい。</p> <p>立地適正化の策定について、今年度末までに居住誘導区域、都市機能誘導区域の案を作成するというので、順調に進んでい</p>

<p>水道局長</p>	<p>る。</p> <p>空き家対策の推進について、一定ルールが協議会の中で定まったが、行政代執行までいく特定空き家が100件ある。特定空き家に認定すると、勧告、指導等へ、最終的には行政代執行まで進んでいくこととなる。基本的には、空き家の管理というのは個人の責任であり、行政がどこまで手出しをするのか、年度末までに庁内で協議しながら方針を出したい。</p> <p>瀬戸・寿上水道問題への取り組みについて、市上水道との統合に向けた具体的な協議事項を決定し、それぞれの項目について議論を進め、早期解決を図ることを目標としている。市の窓口である企画部とも連携し、6月29日に組合三役との会合を持ち、今後のスケジュール調整や問題点などについて意見交換を行った。今後は、2年を目途に、平成30年度までに市水道との統合に向けた合意形成を目指してまいる。</p> <p>管路更新・耐震化計画に基づく整備促進について、新居浜市の基幹管路の耐震化率は平成28年度末で29.3%であり、全国平均の37.2%と比べ著しく低いことになっており、「管路更新・耐震化計画」に基づき、全国平均の上昇率を上回る耐震化率での整備を促進することを目標としている。本市の平成27年度から平成28年度にかけての上昇率は5.1ポイントとなっており、全国平均の上昇率1.2ポイントを上回っているが、今年度も計画的な耐震化を推進するとともに、災害時の拠点病院や避難所等の防災拠点への安定給水のための重要管路について、重点的に整備を進める。具体的には、県立病院への給水について、今年度基本計画を策定する。</p>
<p>教育委員会事務局 長</p>	<p>まず、家庭・地域の教育力の向上について、放課後まなび塾については今年度新たに4か所の設置に取り組んでおり、9月から大生院小学校に設置するが、残り3か所については指導員の確保が難しい状況となっている。</p> <p>次に、公立学校（幼小中）の適正規模・適正配置の検討について、「新居浜市今後の学校の在り方に関する検討委員会」を設置し、若干遅くなったが8月18日に第一回の会合を開催したところで、今年度末までに教育委員会としての一定の考え方を決定したい。</p>

	<p>次に、学校給食施設建設計画の検討については、先週政策会議の勉強会を開催したが、9月に政策会議を開催し、給食施設建設の基本方針を決定したいと考えている。</p> <p>次に、スポーツに親しむ環境づくりのうち、80周年記念事業として実施するウェイトリフティング講演会について、当初の日程からは遅れているが、講師の方との日程調整が整い、平成30年1月8日開催の予定で進めている。</p> <p>次に、公約では教育施設の整備について、小中学校のトイレの洋式化及び教室へのエアコン設置に関し、先週、政策会議の勉強会を終え、9月に政策会議を開催し、今後の整備計画等を決定したい。</p>
市長	<p>ただいまの説明で、何かご質問、ご意見はないか。</p> <p>建設部の駅南に関し、今年度中に方向を出すということでしょうか。</p>
建設部長	<p>それでよいが、何の施設を造るところまではいかない。</p>
市長	<p>立地適正化計画について、企画部の公共施設再配置計画の所でも申し上げたが、色々な計画が関連してくるので関連部局で調整をしていただきたい。住民への説明会の取扱いについても議論をしていただきたい。</p> <p>大島の自転車道整備は10年程度かかると聞いているが、早急に整備の方策をお願いします。</p> <p>特定空き家はもう認定されているのか。</p>
建設部長	<p>まだ認定はしていない。認定のルール作りは終えたが、認定することにより、最終、行政代執行まで進むことについて、それをやってしまうのかどうか。各市町に問い合わせた中で言うと、どうしてもしないといけないもののみやっているようである。</p>
市長	<p>そのあたりも議論していただきたい。</p> <p>教育委員会で放課後まなび塾に関し、放課後児童クラブ、放課後子ども教室と統合するという話を聞いているが、どのようなになっているのか。</p>

教育委員会事務局長	<p>放課後児童クラブと放課後子ども教室については一体的な運営・運用を行っているが、放課後まなび塾については各校区に広まってはいない状況で、指導員の確保が課題になっている。厚生労働省の事業と文部科学省の事業ということで、もともと事業の制度自体がかなり異なっており、どのような形で一体化するのか、検討を行っているが、まだ十分な議論はできていない。</p>
市長	<p>放課後児童クラブで問題となるのは、本市は3年生までが対象で、夏休み等の長期休暇中は4年生までが対象となっているが、西条市は6年生までが対象となっている点。これを言うと、放課後まなび塾でカバーしているということであるが、それとこれとは違う。放課後児童クラブに全員を入れて、勉強する児童は勉強し、遊ぶ児童は遊ぶとするなど、統一が図れないか。これについては何年も言っているが、なかなか進まない。何が問題であるのか。</p> <p>全部一緒にして、働いている人のところは放課後クラブの対象とし、働いていないところは市単独の事業でということはできないか。やるのは一緒にして、中身で縛るようにしてはどうか。</p>
教育委員会事務局長	<p>放課後児童クラブと放課後まなび塾は考え方が異なっており、指導員の関係でどのようにすればよいか等、詰めていかないといけない。</p>
副市長	<p>放課後まなび塾は無料であるが、有料にすれば統一できないか。有料にはできないので、問題になるのか。</p>
教育委員会事務局長	<p>放課後まなび塾を有料にするという話もあるが、まなび塾の指導員は、無料だからやるので、有料になるとなかなか指導員になりにくいという状況もある。そうするとますます指導員の確保が難しくなる。</p>
副市長	<p>それを言うと、片方は有料、もう片方は無料という事で、絶対一緒にはなれない。</p>
市長	<p>そのあたりをどうするのか、議論をしていただきたい。 学校の統廃合については、今年度末までに結論を出すというこ</p>

	とか。
教育委員会事務局長	今年度末までに一定の考え方を示したい。ただ、具体的にどこの学校を統廃合する等の結論まで持って行く考えはない。
市長	残念なのは、ウエイトリフティング講演会は、国体開催後となるのか。
教育委員会事務局長	講師の方との日程調整がどうしてもできなかったが、やっと1月8日に開催できることとなった。
市長	1月8日の開催は決定したのか。
教育委員会事務局長	そうである。
市長	最後に、消防本部、港務局事務局、選挙管理委員会事務局より願います。
消防長	消防本部の最大の事務事業、総合防災拠点施設の建設については、関係部局の支援により、現在進んでいる。 南消防署の整備については、方針が定まっておらず、今後庁内協議を進めたい。
港務局事務局長	新居浜港港湾計画の見直しについて、目標としては、新規投資による貨物の変化など荷主の意向を確認し、菊本沖の港湾計画改訂につなげていきたいと考えている。 現在の進捗状況としては、住友系企業に対し、貨物の動向や、新居浜港に求める港湾機能のヒアリングを実施しているが、港湾計画改訂に向けた新たな貨物需要は見出せていない状況である。また、新たな工業用地、係留施設ともに、現在のところ不要との回答をいただいている。 今後については、荷主企業との協議の外、最終処分場西側護岸の延命化対策についても検討を進めていきたい。
選挙管理委員会事務局長	懸案事項1件について、予定通り進んでいる。

市長	<p>港務局の港湾計画の見直しは、企画部も入れて、関係企業と交渉を行ってほしい。</p> <p>他になければ、この重要・懸案事項及び私の公約に関する進捗状況の報告については、今年度中にあと2回程度、こういう機会を持ちたいと思うので、これらの事業と、他の事業等も含め、スピード感を持った進捗管理をお願いしたい。</p>
----	--

(4) 使用料・手数料の見直しについて (企画部)

企画部長	<p>使用料・手数料の見直しについては、昨年9月の庁議において、見直しの基本方針を決定し、17の使用料・手数料について、担当課とのヒアリングなど見直し作業を進めてきた。関係課のご協力にお礼申し上げます。</p> <p>今回、その内5つの使用料・手数料について改定を行いたいと考えている。</p> <p>(詳細説明)</p> <p>いずれの使用料・手数料についても、本日決定していただければ、12月議会に条例改正の議案を上程したいと考えており、会派説明については企画部で一括して行うので、関係部局は条例改正等の準備をお願いしたい。</p>
市長	<p>ただ今の説明について、質問等はないか。</p> <p>なければ、説明のあったように決定する。</p>

3 協議事項 (なし)

4 連絡事項

(1) 新居浜市市制施行80周年記念事業について (企画部)

企画部長	<p>新居浜市市制施行80周年記念事業について、報告とお願いをさせていただく。</p> <p>まず、8月22日に開催した第4回新居浜市市制施行80周年記念事業実行委員会の報告である。</p> <p>実行委員会では、①終了した事業について、②現在実施中の事</p>
------	---

	<p>業について、③今後の予定事業についての3点について協議した。</p> <p>まず、①終了した事業については、担当課において一覧表を速やかに更新すること、また、ホームページ等でも速やかに実施状況、特に感動を与えるような場面もあれば、そのようなことも伝える、行ったことの結果をお知らせすることを徹底した。</p> <p>次に、②現在実施中の事業として、「新居浜が生んだ「ジブリの動画家 近藤勝也展」」に関し、来場者は8月20日（日）には1万人を突破したが、会期も後半を迎える中、入場者を増やすための方策について協議した。</p> <ul style="list-style-type: none">・家族全員となると手が出しにくい料金であるということもあり、割引チケットを、イオン、ビジネスホテル、マイントピアで配布しているが、もっとPRすべきではないか。できるならば、もっと配布してよいのではないか。・テレビ、新聞による最後のPRを行う。松山の県美術館で開催した際も効果があったそうである。・あかがねミュージアムで、誘客を更に広めるためにも、ジブリ映画の放映をしてはどうか。 <p>等の意見が出され、ジブリ映画については8月27日、9月3日、9月10日に映画の上映を行うことになった。</p> <p>なお、職員でまだ鑑賞されていない方は、早めに来場いただくようお願いしたい。</p> <p>③今後の予定事業としては、</p> <p>「10歳のわたしとぼく」について協議したが、昨日、満席で入れないほどの来場者があり、感動の中、終了した。ただ、いずれの事業にも共通するが、事前に盛り上げるためにも、本番までの準備状況や、当日の見どころなどのPRが重要であり、今後の事業においては、その点にも取り組む必要がある。</p> <p>「ドリーム・ベースボール」については、参加メンバーの紹介や事業内容について報告があり、駐車場が河川敷ということであるが、この点が懸念されるといった意見等が出された。</p> <p>最後に、お願いであるが、「ドリーム・ベースボール」については、当日の事務従事者が教育委員会だけでは不足することから、先週の庶務担当会議で応援勤務に関して担当課から依頼しているので、ご協力をお願いしたい。</p> <p>また、今後も、太鼓祭りイベント、記念式典、あかがねマラソ</p>
--	---

	ン等、応援勤務が必要な事業が控えており、これらの事業については、偏った職員ではなく、80周年記念事業にできるだけ多くの職員が携わり、経験できるよう、各部局のご配慮をお願いしたい。
--	---

(2) その他

市長	<p>私から1点。</p> <p>国の補正予算があるのではないかと、言われているが、各部局で現在把握している情報があれば報告をお願いします。</p> <p>(特になし)</p> <p>いずれにしても、国が補正予算を組めば、すぐに対応ができるよう、関係機関との連絡を密にし、情報収集に努めるとともに、事前の準備についてもよろしくお願いしたい。</p> <p>他になければ、本日は長時間となったが、以上で平成29年度第5回庁議を終わる。</p>
----	--